

開館40周年記念特別展

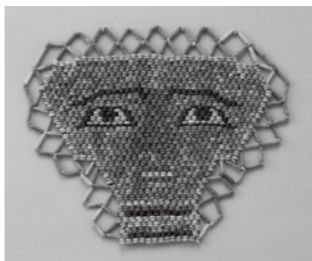
「ピース——つなぐ・かざる・みせる」  
飾り玉、数珠玉、トンボ玉などを総称するピース。本展示では、私たち人類がつくり出した最高の傑作の一つとしてピースをとりだして、つくる楽しみ、飾る楽しみをおして日本や世界の人びとにとってのピースの魅力を紹介いたします。

体験コーナー

ダチョウの卵の殻でできたピースのアクセサリなどをさわったり、タカラガイなどの自然素材をピースとしてつなげたりする体験ができます。

日時 特別展会期中  
会場 特別展示館2階  
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

会期 6月6日(火)まで  
会場 特別展示館



ミイラのピースマスク(エジプト)

みんなくセミナー

時間 13時30分～15時(13時開場)

会場 本館講堂

定員 450名(当日先着順)

参加費 無料(展示をご覧になる方は展示観覧券が必要です)

第467回(4月15日(土))

エジプトでイスラーム思想のテキストを読む

講師 相島葉月(本館准教授)  
思想研究の主たるアプローチはテキスト分析ですが、著者の手を離れた後、テキストの意味は誰のものになるのでしょうか。エジプトの事例より思想研究への人類的アプローチを検討します。



エジプト人思想家  
アブドゥルハリーム・マフムード(1910-78)

みんなくウィークエンド・サロン  
研究者と話す

※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

本館の研究者が現在取り組んでいる研究「調査している地域(国)の最新情報」「みんなく」の「展示資料」について分かりやすくお話しします。

4月2日(日) 14時30分～15時15分 特別展示館

身近な素材、貴重な素材

台湾原住民のピースの多様性

話者 野林厚志(本館教授)

4月9日(日) 14時30分～15時 特別展示館

北アメリカ先住民とアイヌのガラスピース利用

話者 齋藤玲子(本館准教授)

4月16日(日) 14時30分～15時 特別展示館

世界のピース、日本のピース

話者 池谷和信(本館教授)

4月23日(日) 14時30分～15時15分 本館ナビひろば

民博の展示資料を守る

話者 日高真吾(本館准教授)

4月30日(日) 14時30分～15時15分 本館ナビひろば

「異教徒の地」と「光の地」

パキスタン・アフガニスタンのカタ人とカラーシャヤ人話者 吉岡乾(本館助教)

企画展

「津波を越えて生きる」

大槌町の奮闘の記録

大槌町の被災前の文化を紹介すると同時に、被災直後の人びとの行動や復旧の試みを展示の形でたどりま。

会期 4月11日(火)まで

会場 本館企画展示場



大槌まつりの手踊り隊

みんなく春の遠足・校外学習  
事前見学&ガイド

春の遠足・校外学習にむけて、事前見学に来館される学校団体の先生方を対象としたガイドを企画します。

日時 4月4日(火)、6日(木) 14時～16時30分

会場 本館第5セミナー室ほか

※参加無料

ホームページから参加申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、FAXにてお送りください。

お申し込み・お問い合わせ先

国立民族学博物館案内所

電話 06・68778・8341

Fax 06・68778・8441

連続講座

「みんなくナレッジキャピタル  
世界のピース」

特別展「ピース——つなぐ・かざる・みせる」に関連した連続講座を行います。ピースは、およそ10万年前にはじめてつくられたといわれ、世界各地にみられるものです。今回は、みんなくワールドワーカーによって語られるピースと人のかかわりについて具体的に紹介いたします(全4回)。

時間 19時～20時30分(18時30分開場)

会場 グランフロント大阪北館1階

ナレッジキャピタル「カフェラボ」

※要事前申込、参加費500円(1ドリンク付き)、定員各回50名

主催 国立民族学博物館

一般社団法人ナレッジキャピタル

4月12日(水)

世界はピースでつながっている

講師 池谷和信(本館教授)

4月19日(水)

台湾のピース

講師 野林厚志(本館教授)

お問い合わせ先

一般社団法人ナレッジキャピタル

06・6372・6530

ナレッジシアター

「地球探検紀行」

開館40周年にちなみ、本館展示の地域区分(12地域)ごとに、地球に暮らす人びとの多様な営みを紹介します。

時間 13時～14時30分

会場 あべのハルカス近鉄本店「スペース9」

※要事前申込(参加状況により当日受付あり)、

参加費1000円、定員各回50名

主催 産経新聞社

共催 近鉄文化サロン、スペース9

特別協力 国立民族学博物館、千里文化財団

4月12日(水)

南太平洋の文化遺産

宣教師ブラウンとそのコレクション

講師 林黙男(本館教授)

4月19日(水)

太平洋の探検家

朝枝利男の探検と生涯

講師 丹羽典生(本館准教授)

お申し込み・お問い合わせ先

ウエーブ産経ナレッジシアター係

06・6633・9087

友の会

国立民族学博物館友の会 電話 06-6877-8893 (9時～17時、土日祝を除く) FAX 06-6878-3716  
http://www.senri-f.or.jp/ E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

友の会講演会(大阪)

会場 本館第5セミナー室(定員96名)

※当日先着順、会員無料(会員証提示)、一般500円

第466回 5月6日(土) 13時30分～14時40分

手話言語学研究部門プロジェクト関連

第二言語としての日本語

実感・体感的な手話言語案内

講師 飯泉菜穂子(本館特任教授)

手話言語は音声言語とは異なる音素・語彙・文法をもつ独立した言語です。音声言語が耳で聞き口で話すことばなら、手話言語はいわば「目で聞き手で話す」ことばとい換えることができるかもしれません。私たちの暮らしで日本で使用されている「日本語」はどんな言語で、どんな人たちが話し、その人たちはどんな文化を持っているのでしょうか。第二言語として手話を習得してきた私の体験を交えながら分かりやすくお話しします。

第467回 6月3日(土) 13時30分～14時40分

みんなく名誉教授シリーズがスタート

人類史のなかの遊牧

講師 松原正毅(本館名誉教授)

東京講演会

第118回 5月13日(土) 13時30分～14時40分

第89回民族学研修の旅関連

モンゴル高原における遊牧民の遺産

講師 小長谷有紀(人間文化研究機構構理事、本館併任教授)  
会場 モンベル御徒町店4Fサロン

モンゴル高原では古来、匈奴・鮮卑・突厥など、様々な民族が主役の座を交代しながら、遊牧文明が維持されてきました。遊牧とは、乾燥した気候にあわせて動物を多角的に利用する生活であり、移動によつて随時、自然や社会の変化に対応する柔軟性を備えています。モンゴル遊牧民は、そうした生活の知恵や移動精神を、現在に受け継ぐ人びとです。馬に乗って草原を駆け、平和構築に励んだ遊牧民の暮らしを、各地に遺る史跡を手がかりに考えます。

※要事前申込(定員60名)、会員無料、一般500円

民族学研修の旅

第89回「モンゴル」遊牧の民で出会う(8月実施は好評につき定員となりました。キャンセル待ちでのみ受付しております)。

みんなく無料シャトルバスのご案内

大阪モノレール「万博記念公園駅」とみんなくの間直通無料送迎バスを特別展「ピース——つなぐ・かざる・みせる」の会期中に運行します。

運行日 6月6日(火)までの土曜・日曜・祝日

1日11往復、所要時間10分、無料

運休日 平日、5月13日(土)、14日(日)、

20日(土)、21日(日)

※万博記念公園でイベントが開催される場合は臨時に運休することがあります。詳細は本館ホームページをご覧ください。

国立民族学博物館発		大阪モノレール万博記念公園駅発	
時	分	時	分
10	50	10	06
11	20	11	06
12	30	12	46
13	00	13	16
14	10	14	26
15	10	15	26
16	30	16	
17	00	17	

●小・中学生の観覧無料化について  
開館40周年を記念し、4月1日(土)より中学生以下は観覧料が無料となります。

※各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。

※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

研究部の改組について  
2017年4月1日より、総合的研究力の強化及び学術資源の研究開発力の強化のため研究組織を変更いたします。従来の3研究部2センターに代わり、人類基礎理論研究部、超域フィールド科学研究部、人類文明誌研究部、グローバル現象研究部、学術資源研究開発センター及び国際研究統括室を設置します。